

エコアクション2.1
環境経営レポート

令和6年5月31日発行



運用期間：令和5年5月～令和6年4月



山岸建設株式会社

目 次

- ◆ 組織の概要 P 2～3
- ◆ 実施体制 P 4
- ◆ 環境経営方針 P 5
- ◆ 環境経営目標と実績 P 6
- ◆ 環境経営計画 P 8
- ◆ 環境経営計画の取組結果と評価 P 9
- ◆ 環境経営取組状況 P 10
- ◆ 環境関連法規一覧及び遵守状況 P 11・12
- ◆ 代表者による全体の評価と見直し記録 P 13

組織の概要

【社名及び代表者】

山岸建設株式会社
代表取締役 山岸 豊



【所在地】

本社 《志戸呂事務所》
《高熊事務所》

〒428-0019 静岡県島田市志戸呂863-1
〒428-0001 静岡県島田市高熊348番地
TEL:0547-46-1133 FAX:0547-46-1175
Email:yamaken@yamagishi-inc.co.jp
HP:http://yamagishi-inc.co.jp/

【設立年月日】

昭和23年11月8日
昭和34年1月21日
昭和57年8月7日

創業
有限会社山岸建設を設立
山岸建設株式会社に組織変更

【事業年度】

5月1日～翌年4月30日

【環境管理責任者】

山岸 浩幸

【環境事務局担当者】

山岸 美紗子



【対象活動】

総合建設業
(土木、とび・土工、舗装、水道施設、解体、管工事業)

【事業の規模】

活動規模		単位	令和3年	令和4年	令和5年
売上高		百万円	674	616	427
従業員		人	18	17	18
床面積	志戸呂事務所	m ²	50.6	50.6	50.6
	高熊事務所	m ²	216.0	216.0	216.0
車両 (最大積載量)	キャブオーバ (1,250kg)	台	2	2	2
	キャブオーバ (2,000kg)	台	1	1	1
	軽トラック (1,330kg) ※	台	2	1	1
	ダンプ (3,000kg) ※	台	1	1	1
	ダンプ (3,700kg) ※	台	1	1	1
	ユニック(3,000kg) ※	台	1	1	1
	ユニック(2,000kg) ※	台	0	0	0
	セルフ(8,100kg) ※	台	1	1	1
	商用車	台	8	9	9
	重機	台	7	7	7

※産業廃棄物収集運搬業としての登録車両

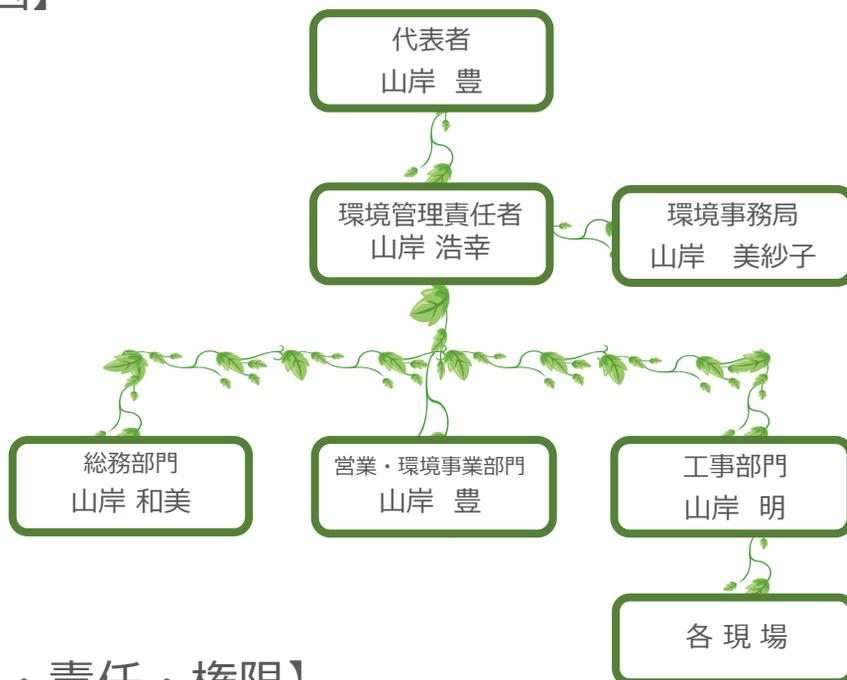
【事業の内容】

事業の内容		許可番号
		許可期間
一般建設業	管工事業	(般2) 第1180号
		R2.7.27~R7.7.26
特定建設業	土木、とび・土工、舗装、 水道施設工事業、解体工事業	(特2) 第1180号
		R2.7.27~R7.7.26
産業廃棄物収集運搬業	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、 がれき類、木くず(実績なし)	第0220119323号
		H2.7.14~R7.7.13

※産業廃棄物収集運搬業は、自社元請工事の範囲内で行っています。

実施体制

【組織図】



【役割・責任・権限】

代表者	環境経営方針・環境経営目標の設定、資金等の準備、環境管理責任者の任命、システムの評価と見直し 経営における課題とチャンスの明確化 効果的な推進体制の構築と全従業員への周知
環境管理責任者	システムの構築及び運用の管理、代表者への報告、システム運用に関する教育・訓練の実施
環境事務局	環境管理責任者の補佐、環境経営レポートの作成、システム運用上の文書・記録の作成及び維持管理、負荷及び取組の自己チェックの実施
各部門長	自部門に係るシステムの実施及び記録、環境管理責任者への報告、自部門従業員に対する教育・訓練
社員	環境経営方針を理解し遵守する 指示を受けて改善に取り組む

環境経営方針

【基本理念】

当社の事業活動が、地球環境に及ぼす影響を理解して、環境負担の低減、改善に取り組み、地域社会の明るい未来、ひいては当社経営発展の為に、環境保全・地域活性化に繋がる活動を継続的に行います。

【行動指針】

1. 地球環境保護の為、二酸化炭素排出量の削減、水資源の節約、廃棄物のリサイクルに努める。
2. 建設リサイクル法やその他の環境関連の法規制を遵守し責任ある企業を目指す。
3. 地域の環境保全に積極的に貢献する。
4. 全社員に環境保全に関する教育を行い、意識・知識の向上に努める。
5. 環境経営レポートを公開し、社会とのより良いコミュニケーションを実践する。
6. 環境に配慮した事業活動を推進する。
7. 地域の担い手育成活動を積極的に実施する。



平成21年11月10日 制定

令和元年5月30日 改訂

山岸建設株式会社
山岸 豊

環境経営目標

環境経営目標 【中期目標】		単位	基準年		目 標			
			3カ年の平均値		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			令和1・2・3年度の実績平均		令和4年5月～ 令和5年4月	令和5年5月～ 令和6年4月	令和6年5月～ 令和7年4月	令和7年5月～ 令和8年4月
売上高・環境効率指数 (削減率)			657百万円	環境効率指数 (基準値)	環境効率指数 (-1%)	環境効率指数 (-2%)	環境効率指数 (-3%)	環境効率指数 (-4%)
CO2	二酸化炭素排出量	kg-co2	84,152.00	128.09	126.80	125.52	124.24	122.96
資源 使用量	電力使用量	kwh	13,926.33	21.20	20.98	20.77	20.56	20.35
	ガソリン使用量	ℓ	8,867.77	13.50	13.36	13.23	13.09	12.96
	軽油使用量	ℓ	22,070.33	33.59	33.26	32.92	32.58	32.25
	水使用量※3	m ³	326.00	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
廃棄物 排出量	産業廃棄物※2 (建設混合廃棄物)	kg	6,352.66	9.67	9.57	9.48	9.38	9.28
	一般廃棄物※3	kg	655.27	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

※1 環境効率指標 (項目数値/売上高 (百万円))

※2 産業廃棄物は建設混合廃棄物に限定

※3 水使用量・一般廃棄物については目標を基準年維持とする

※4 基準年度及び運用期間の購入電力のCO2排出係数は中部電力(株)
2022年度の0.433kg-co2/kwhを使用

環境経営目標の実績

環境経営目標 【中期目標】		単位	基準年		目標		結果		
			3カ年の平均値		令和5年度 目標		令和5年度 結果		
			令和1・2・3年度の実績平均		令和5年度 目標値	令和5年度環境効 率指数目標	令和5年度 実績値	令和5年度 環境効率実績	目標比
売上高・環境効率指数 (削減率)			657百万円	環境効率指数 (基準値)	427百万円	環境効率指数 (-2%)	427百万円	環境効率指数	達成率
CO2	二酸化炭素排出量	kg-co2	84,152.00	128.09	53,598.55	125.52	126,131.36	295.39	42%
資源 使用量	電力使用量	kwh	13,926.33	21.20	8,870.03	20.77	8,249.00	19.32	108%
	ガソリン使用量	ℓ	8,867.77	13.50	5,648.11	13.23	9,193.73	21.53	61%
	軽油使用量	ℓ	22,070.33	33.59	14,057.15	32.92	39,236.47	91.89	36%
	水使用量※3	m ³	326.00	0.50	213.50	0.50	178.60	0.42	120%
廃棄物 排出量	産業廃棄物※2 (建設混合廃棄物)	kg	6,352.66	9.67	4,046.17	9.48	2,314.00	5.42	175%
	一般廃棄物※3	kg	655.27	1.00	427.00	1.00	284.75	0.67	150%

※1 環境効率指標 (項目数値/売上高 (百万円))

※2 産業廃棄物は建設混合廃棄物に限定

※3 水使用量・一般廃棄物については目標を基準年維持とする

環境経営計画

責任者：山岸浩幸

(令和5年度)

取組事項	環境活動の具体的な取組	判定	
		上半期： R5.10	下半期： R6.4
電力使用量の削減	①エアコンの温度を夏（7～9月）は27℃以上、冬（12～2月）は23℃以下に設定	○	○
	②OA機器、パソコン等、未使用時の電源OFF	○	○
	③昼食時及び不要時の消灯、エアコンの停止	○	○
	④必要のない場所の蛍光灯の取外し	○	○
	⑤グリーンカーテン	○	○
	⑥非常灯や現場仮設トイレ等、ソーラー式センサーライトの使用	○	○
燃料使用量の削減	①車両の点検整備（タイヤ空気圧、エンジンオイルのチェック）	○	○
	②不必要な荷物は載せない	○	○
	③忘れ物を無くし無駄な走行はしない	○	○
	④急発進、急加速、急停止をしない	○	○
	⑤不要なアイドリングの禁止	○	○
	⑥重機はスロットル80%での作業	○	○
	⑦移動車両はなるべく相乗りし、稼働台数を減らす	○	○
	⑧重機・車両は、低燃費・低騒音・有害ガスを抑えたのものに、順次買い替え/優先使用	○	○
廃棄物排出量の削減	①コピー用紙は両面使用、縮小印刷にする	○	○
	②メール等を利用して紙の使用を削減する	○	○
	③使い捨て製品の購入を抑制する	○	○
	④ゴミの分別を行う（事務所、工事現場）	○	○
	⑤無駄な資材を発注しない	○	○
	⑥電子マニフェストの導入	○	○
	⑦段ボール等のリサイクル	○	○
水使用量の削減	①蛇口付近に節水のステッカーを貼り節水に心掛ける	○	○
	②定期的な漏水のチェック（2カ月に1回「水道使用水量等のお知らせ」にて）	○	○
環境に配慮した 自社独自の取組	①現場排出木材の再利用（しいたけ原木栽培）	○	○
	②生コンのロスを活用してブロックを作成	○	○
	③ICT工事の積極的な取り組み	○	○
その他	①地域での環境保全活動の実施	○	○
	②生物多様性の保全	○	○
	③地域の担い手育成活動	×	×

環境経営計画

責任者：山岸浩幸

(令和5年度)

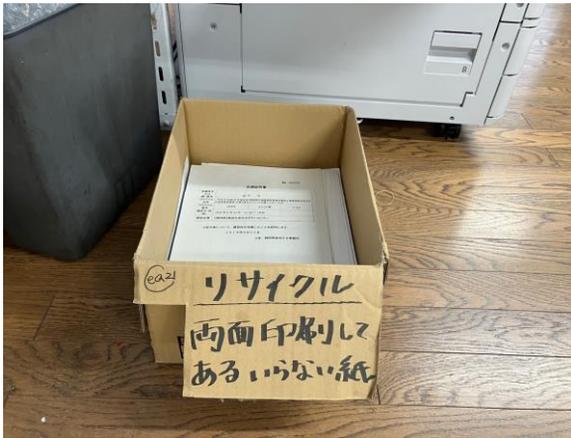
	具体的な取組		評 価	次年度の取組内容
電力使用量の削減	① エアコンの温度設定	○	扇風機を併用し使用量を減らした。	継続
	② OA機器等、未使用時電源OFF	○	共有PCへ自動電源OFFを設定	継続
	③ 昼食時及び不要時の消灯、エアコンの停止	○	事務所、各現場、新設テント倉庫にて実行	継続
	④ 必要のない場所の蛍光灯の取外し	○	本社非常灯、現場仮設トイレ	継続
	⑤ グリーンカーテン	○	ゴーヤ、キュウリなど栽培	継続
	⑥ ソーラー式センサーライトの使用	○	現場及び本社駐車場にて使用	継続
燃料使用量の削減	① 車両の点検整備（タイヤ空気圧等）	○	始業前に点検実施	継続
	② unnecessary 荷物は載せない	○	事務所出発前に荷物の整理を実施	継続
	③ 忘れ物を無くし無駄な走行はしない	○	最短で安全なルート選び	継続
	④ 急発進、急加速、急停止をしない	○	現場との行き来で慣行	継続
	⑤ 不要なアイドリングの禁止	○	同上	継続
	⑥ 重機はスロットル80%での作業	○	朝礼にて定期的実施状況を確認	継続
	⑦ 移動車両の相乗り	○	現場との行き来で慣行 役所の資料授受時、声掛けを実施	継続
	⑧ 低燃費・低騒音・排出ガス浄化システム搭載の重機（バックホウ）を導入・継続使用	○	導入後、低燃費・低騒音の重機を優先的に使用	継続
廃棄物排出量の削減	① コピー用紙は両面使用、縮小印刷にする	○	各PCへ基本設定を行った。	継続
	② メール等を利用して紙の使用を削減する	○	社内連絡事項のメール通知	継続
	③ 使い捨て製品の購入を抑制する	○	カートリッジ式の物を購入	継続
	④ ゴミの分別を行う（事務所、工事現場）	○	積極的に分別を行い混合廃棄物を減量した。	継続
	⑤ 無駄な資材を発注しない	○	倉庫内部材確認の徹底	継続
	⑥ 電子マニフェストの導入	○	都度入力を行慣行	継続
	⑦ 段ボール等のリサイクル	○	一般ごみとして排出していたコピー用紙を地域の幼稚園のリサイクル活動に提供。 一般ごみ削減につながった。	継続
水使用量の削減	① 節水呼び掛けステッカーを貼り節水に心掛ける	○	社員共通の意識として実行	継続
	② 定期的な漏水のチェック	○	請求書で確認実施	継続
環境に配慮した自社独自の取組	① 現場排出木材の再利用（しいたけ原木栽培）	○	一昨年に植え付けたしいたけを収穫し、社内のバーベキューに利用した。	終了
	② 生コンのロスを活用してブロックを作成	○	生コン打設現場にブロック型を持参し、残った生コンでブロックを作成した。	継続
	③ ICT工事の積極的な取り組み	○	工事日報のシステム入れ替えにより、毎日印刷が必要なくなりコピー用紙利用の大幅削減ができた。	継続
その他	① 地域での環境保全活動の実施	○	道路愛護運動（R4年7月） 各工事毎に現場周辺の清掃活動	継続 継続
	② 生物多様性の保全	○	しいたけ原木栽培→木の老朽化で今期で終了。	終了
	③ 担い手確保活動	×	今年度は実施できなかった。来年度は担当を設けて地域小学生を現場見学に招待したい。	継続

環境経営取組状況

(令和5年度)

【コピー用紙リサイクルbox】

集めた用紙は地域幼稚園の
PTAリサイクル活動へ協力 PTA活動資金
となった また一般ごみであった**古紙の削減**
減ができた



【新規導入 日報システム】

日報を日々印刷し、出勤確認をしていたが、
新システム導入により印刷不要となったため
古紙の削減に寄与した

【道路愛護運動】



地域貢献
焼津森線で
除草作業
山岸建設
山岸建設（島田市、山岸社長）は7月26日、島田市大代地の焼津森線で除草作業を行った。写真。

地域貢献 除草作業 建通新聞に掲載
令和5年7月（上）、令和6年3月(右)

環境関連法規一覧及び遵守状況

1/2P

環境関連法規等取りまとめ表（遵守評価記録）		判定日：令和 6年 5月 31日		
		判定者：環境管理責任者 山岸 浩幸		
法規・条例・規制				
法令の要求事項		点検・測定頻度、実施時期	順守評価	
			証拠	判定
廃棄物処理法（排出事業）				
産業廃棄物の収集運搬・処理委託基準	業者との契約、許可証写し保管	随時	契約書 許可証	○
電子 manifests の登録	電子 manifests (JWNET) を利用。排出事業者は廃棄物を引渡した日から3日以内、収集運搬事業者は運搬終了後3日以内、処分業者は処分終了後3日以内に登録する。		電子 manifests ト	○
産業廃棄物管理票(manifests)の交付及び保管・管理	A,B2,D,E票の保管（5年間） ※D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内に都道府県知事へ報告		紙manifests スト	○
産業廃棄物処理委託先の実施確認と記録の保管	記録の保管（5年間）	年1回以上	チェックシート	○
多量排出事業者の廃棄物処理計画及び実施状況報告	産業廃棄物が年間1,000 t を超えて排出される場合に県に報告書提出	年1回6月まで	申請書	○
廃棄物の飛散・流出・地下浸水の防止	保管場所に60cm×60cm以上の表示板を設置			○
廃棄物処理法（収集運搬事業）				
収集業者の許可証確認（写し保管）		1回/5年	許可証年月	○
産業廃棄物の収集運搬・処理委託基準	業者との契約、許可証写し保管	随時	契約書 許可証	○
電子 manifests の登録	電子 manifests (JWNET) を利用。排出事業者は廃棄物を引渡した日から3日以内、収集運搬事業者は運搬終了後3日以内、処分業者は処分終了後3日以内に登録する。		電子 manifests ト	○
産業廃棄物管理票(manifests)の交付及び保管・管理	A,B2,D,E票の保管（5年間） ※D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内に都道府県知事へ報告		紙manifests スト	○
自社による運搬時の表示、書類携行				○
静岡県環境基本条例、静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例				
産業廃棄物管理票交付等状況を静岡県知事へ報告	紙manifestsが交付された場合のみ	1回/年	報告書年月	○
処理委託先の現地確認と記録の保管		1回/年		○
産業廃棄物管理責任者の選任				○
建設リサイクル法（第12条）、資源有効利用促進法				
特定建設資材 ^{*1} の分別解体等・再資源化等の実施	工事着手7日前までに都道府県知事へ提出 実施と報告			○
資源有効利用促進法（第4条）				
（建設副産物適正処理推進要綱）	指定副産物の再資源化資源利用計画書（実施書）、再資源化資源利用促進計画書（実施書）の作成、実施、保管			○
（PCリサイクル法）OA機器の適正処分	引き取り業者への適切な引渡し	廃棄時		○
建設業法				
建設業の許可	5年毎に更新			○
建設工事の請負契約	施工体制台帳及び施工体系図の作成。工事現場内の見やすい場所に施工体系図を掲示する。			○
雑則	工事毎に許可を受けた内容を掲示する。			○

環境関連法規一覧及び遵守状況

2/2P

特定特殊自動車排出ガスの規制に等に関する法律（通称：オフロード法）（第51条）				
オフロード車（特定特殊自動車）の使用規制	規制適用日以後に製作された新車に対する規制		適合証明	-
道路法、道路運送車両法、道路交通法				
法定点検、整備、積載基準の遵守			車検証 自主点検表	○
振動規制法（第14条1項）、静岡県生活環境の保全等に関する条例（第44条）				
特定建設作業※2開始の届出	作業開始7日前までに都道府県知事へ提出			-
規制基準の遵守	特定建設作業の敷地境界線において7.5デシベルを超えない			-
騒音規制法（第14条1項）、静岡県生活環境の保全等に関する条例（第44条）				
特定建設作業※2開始の届出	作業開始7日前までに都道府県知事へ提出			-
規制基準の遵守	特定建設作業の敷地境界線において8.5デシベルを超えない			-
浄化槽法、静岡県浄化槽法施行細則（第41条）				
新設・変更・廃止の届出		30日以内		○
保守点検の実施		点検：3回/ 年	保守点検記 録票	○
定期水質検査		1回/年		○
家電リサイクル法				
特定家庭用機器（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機）のリサイクル	引き取り業者への適切な引渡し		廃棄時	○
自動車リサイクル法（第5条）				
廃棄車両の適正処分※3	引き取り業者への適切な引渡し		廃車した場合	○
地球温暖化対策の推進に関する法律（第5条）、静岡県地球温暖化防止条例（第31条）				
温室効果ガス排出の抑制措置				○
気候変動適用法				
熱中症対策				○
消防法				
火災の予防				○
フロン排出抑制法				
簡易定期点検（ユーザー）	第一種特定製品（事務所空調、建設機械空調）	1回/3ヶ月		○
定期点検（専門知識を有する者）	圧縮機電動機定格出力が7.5kW以上50kW未満（50kW以上）の場合	1回/3年 （1回/年）		-
○：適合、△：不適合の可能性あり、×：不適合、-：該当なし（判定が×の場合は、問題点処置票により解決する）				
※ 静岡県条例（静岡県例規集 http://rules.pref.shizuoka.jp/reiki/reiki.html 参照） ※2 別添「特定建設作業の種類」参照				
※1 特定建設資材…「コンクリート塊」「アスファルト・コンクリート塊」「建設発生木材」 ※3 「自動車リサイクル促進センター」HPで廃車状況を検索				

【環境関連法規等の遵守状況】

関係機関からの指摘、利害関係からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

代表者による評価と見直し記録

項目		確認：必要に応じて評価・コメント記載	作成年月日	令和6年5月31日
見直し 関連情報	1 環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> : 朝礼等で社長より伝えていくなど、全社員共通認識として浸透させている。		
	2 環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 水使用量・産業廃棄物・一般廃棄物において目標をクリアすることができた。Co2削減については、電力量は目標数値を達成することができたが、ガソリン・軽油の使用量はクリアできなかった。原因としては、遠方（焼津・川根本町等）での工事件数が多かったこと、また台風の復旧工事に伴う重機使用の増加、道路崩落により工事現場への迂回が必要となり走行距離が伸びてしまったことが挙げられる。上記の点は企業努力では改善できない点であるが、車の乗合・アイドリングストップ・無駄な往復をしない等できることに来年度も注力していきたい。		
	3 環境経営計画及び取組の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 今年度は特に事務所内でのコピー用紙の使用量の削減・また古紙の有効リサイクルにより一般廃棄物を削減することができた。産業廃棄物（混合廃棄物）も、分別の徹底により削減できた。		
	4 環境関連法要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 全てクリア出来た。		
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> : 工事による道路の通行止めや規制が多数あったが、その都度、周辺住民への説明・理解をしっかりとできたため実施後はクレーム等受けることがなかった。		
	6 問題点の是正・予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 次世代の担い手確保活動として現場見学等実施することができなかった。		
	7 取引先・業界・行政機関等の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> : 資材価格の高騰や担い手不足により厳しい経営環境である。特に民間工事では、資材の高騰分を価格転嫁することが難しく採算の合わない工事もあった。		
	8 その他（地域貢献）	<input checked="" type="checkbox"/> : 例年行っている道路周辺の草刈を年間2回実施した。		
代表者による 全体の 評価 見直し	全体評価・コメント（環境経営システムの有効性・取組の適切性等）		<p>昨年度同様、6月に台風2号の被害がありました。島田市高熊地区、白光川では河川に上流からの土砂が堆積し、復旧工事を4件・半年以上の工期をかけて行いました。その結果、使用する軽油・ガソリンの燃料は増加し、今年度も目標をクリアすることが出来ませんでした。</p> <p>ICTの活用については、本年度ドローン講習を若手社員2名が受講・デジタル測量機器の活用・原価や日報の新システムの導入・を行うことにより、作業効率向上やコピー用紙や古紙の削減の結果を出すことができました。昨年度に引き続き働き手不足は深刻であり、採用活動の強化（会社HPでのPRや担い手確保活動など）が次年度の課題であると考えております。</p>	
	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2	環境経営目標	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	3	環境経営計画・取組項目	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	4	実施体制（組織）	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
5	環境経営レポート	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		